

## 平成 29 年度 第 6 回 理事会 抄録

日 時 : 平成 29 年 12 月 2 日 (土) 13:30 ~ 16:00  
場 所 : ホテルグランドパレス  
出 席 : (理事) 半田、内山、斎藤、森本  
網本、伊藤、植松、梶村、黒澤、白石、大工谷、高橋 (哲)、高橋 (仁)、  
田中、谷口、知脇、藤澤、松井、山根、吉井  
(監事) 太田、長澤  
欠席者 (理事) 中川、中前  
(監事) 辻土名

### I. 審議事項

(全 4 題)

1. 会館建設執行委員会からの物件購入・建築の提案について	(半田会長)	承認
11 月の会館建設執行委員会で港区の 1 物件が提示され現地視察したところ、本会が求める条件を満たす物件であることが確認され、物件購入の提案がなされた。 これについて質疑応答及び議論がなされ、賛成多数にて物件購入と会館建設を進めることとなった。		

2. 日本理学療法士連盟からの組織代表決定の報告について	(半田会長)	承認
日本理学療法士連盟中央役員会 (10/6 開催) にて、連盟会長の田中昌史氏 を組織代表とすることが全会一致で決定した。本会としても、この決定に賛同することが承認された。		

3. WCPT サブグループ化に向けたネットワークへの加盟について	(網本常務理事)	承認
がん理学療法部門および産業理学療法部門よりそれぞれ WCPT サブグループ化を目指す WCPT ネットワークへの加盟を希望する申請があり、第 4 回学会運営審議会 (11/3 開催) にて合意されたことが報告された。これを受けて審議がなされた結果、本会として両部門の加盟が承認された。		

4. 新入会員の承認について	(半田会長、内山副会長、斎藤副会長、森本副会長)	承認
平成 29 年 9 月 16 日～11 月 15 日の間、新たに申請をした正会員 701 名の入会について承認された。 また、復会者 25 名、休会者 86 名、退会者 84 名、未納退会取消者 2 名、賛助会員退会 1 社について報告された。		

### II. 報告事項

(全 11 題)

1 平成 30 年度収支予算概況について	(半田会長)
平成 30 年度事業予算要求の提出を基に、会計別の集計が報告された。 あわせて、今後のスケジュールが以下の通り提示された。	

1月 7日：復活折衝の調整（理事会決議）  
2月 3日：業務執行理事会議（平成 30 年度予算の最終調整）  
3月 4日：平成 30 年事業計画・予算決定（理事会決議）  
今後の復活折衝に関する申請についても説明がなされた。

2. 士会組織強化・地域包括ケアシステムの推進について (森本副会長)

士会情報交換会で得られた情報を含めた士会機能強化の進捗状況、ならびに地域包括ケアシステム推進の進捗状況が報告された。

各都道府県によって異なる様々な状況と課題が、以下の 5 点に分けて明示され、課題解決に向けた今後の方向性について示唆された。

- 医療・介護提供量が異なる
- 市町村事業の形態が異なる
- 組織強化に対する意識が異なる
- 会員数と資金的状況及び法人形態が異なる
- 会員には協会の事業、メリットが見えない
  - ・協会の事業に対する負担感が異なる
  - ・会員への広報に対する認識が異なる

3. 常任理事会（10月 21 日） 会議報告 (斎藤副会長)

第 7 回常任理事会の結果等について以下のとおり報告された。

【協議事項】

- 1.平成 30 年度の重点課題に対する事業計画について
- 2.MMT&ROM 評価指針ワーキング第 1 回会議報告と今後の方針
- 3.理学療法教育における割出を伴う解剖学実習に関する経過報告と今後の方針
- 4.公益財団法人 日本リウマチ財団 専門職委員会への委員派遣について
- 5.アジア理学療法フォーラムの開催について
- 6.カンボジア理学療法準学士課程奨学金プロジェクト提案への対応について
- 7.次年度の日韓合同理事会について
- 8.WCPT 役員会の開催について（次年度事業・予算案）
- 9.会館建設にかかる不動産物件の内覧結果と購入について

【報告事項】

- 1.WCPT への委員推薦に関する報告
- 2.呼吸リハビリテーションに関するステートメント 2017（案）の作成
- 3.資金繰りについて

4. 常任理事会（11月 19 日） 会議報告 (斎藤副会長)

第 8 回常任理事会の結果等について以下のとおり報告された。

【協議事項】

- 1.平成 30 年度重点事業（新規事業）の予算案について
- 2.教員協議会の基本方針について

- 3.外部認定機構の認証要件（質）について
- 4.「予防理学療法の確立を目的とした大規模臨床研究に対する研究助成」について
- 5.平成 30 年度職員人事案について
- 6.平成 29 年度賛助会員意見交換会・懇談会の進行について
- 7.協賛企業（仮称）制度について
- 8.平成 30 年度 理事会等諸会議日程（案）

【報告事項】

- 1.第 1 回 IFOMPT Asia-Congress の後援について
- 2.資金繰りについて

5. 業務執行理事会議（11 月 19 日） 会議報告 (斎藤副会長)

第 3 回業務執行理事会議の結果等について以下のとおり報告された。

【協議事項】

- 1.土会組織強化・地域包括ケアシステムの推進について

【報告事項】

- 1.日韓合同理事会議について
- 2.臨床実習教育の手引き 第 6 版（暫定版）の公開について

6. 基本評価検討委員会委員長の任命について (網本常務理事)

日本理学療法士学会に基本評価検討委員会を設置し、その委員長を以下の通り任命し、学会運営審議会で承認されたことが委員会運営規程第 5 条第 3 項の規定により報告された。

■ 基本評価検討委員会 委員長

藤澤 宏幸（東北文化学園大学）

専門理学療法士（基礎）

認定理学療法士（ひとを対象とした基礎領域）

7. 呼吸リハビリテーションに関するステートメント 2017（案）の作成 (網本常務理事)

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本呼吸器学会と日本呼吸理学療法学会が共同して、呼吸リハビリテーションに関するステートメント 2017（案）を作成したことが報告された。

なお、本ステートメントは 10 月中にパブリックコメントを募集し、11 月に「日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌」に投稿。

8. 徒手理学療法部門プロジェクト研究報告書の追加提出について (網本常務理事)

平成 27 年 4 月 1 日付で学会運営審議会から「『理学療法における徒手療法の定義（理論と実践）および効用』に関する資料作成について（依頼）」を受け、徒手部門から平成 29 年 3 月 31 日付で「徒手理学療法部門プロジェクト研究報告書報告書」が提出された。

その後、症例数を増やした報告書が 8 月 30 日付で再度提出されたことが報告された。

#### 9. 第 52 回日本理学療法学術大会における演題各賞の受賞者について

学術大会表彰規程に基づき、第 52 回日本理学療法学術大会の大会各賞（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）の受賞者を選出したことが報告された。

最優秀賞：1 演題 優秀賞：3 演題 奨励賞：6 演題

#### 10. 学術大会（学術集会）の事業計画の承認について

（網本常務理事）

分科学会学術大会規程（第 53 回～）第 8 条 1 項（事業計画等の決定）に従い、第 4 回学会運営審議会（11/3）において、以下の 3 つの学術大会について、事業計画が承認されたことが報告された。

2018 年度開催

- ・第 2 回日本呼吸・心血管・糖尿病理学療法学会合同学術大会（7/16、神奈川）
- ・第 7 回日本支援工学理学療法学会学術大会（9/29、大阪）
- ・第 5 回日本スポーツ理学療法会学術大会（12/8～9、東京）

#### 11. 士会における住民主体型総合事業獲得・運営習得研修会ブロック研修会の報告

（斎藤副会長）

11 月 4、5 日に北海道・東北ブロック（於：盛岡）、11 月 25、26 日に九州・沖縄ブロック（於：博多）において開催したことが報告された。この研修会のプログラム等についても併せて報告がなされた。

以上